

キンダーブック じゅにあ 4月号



「初めまして、ちゅうくんです！」かわいらしいメインキャラクターのちゅうくんから元気な声が聞こえてくるようです。春の花や虫に囲まれて、うれしそうですね。ちゅうくんといっしょに春が来た喜びを感じましょう。



あさの あいさつ

ねらい 朝のあいさつのたいせつさを知らせ、自ら進んでできるようにしましょう。

「ちゅうくんのお母さんが、わん先生に朝のあいさつをしているね」と確認してから、恥ずかしそうにしているちゅうくに注目しましょう。「みんなだったらどうするかな？」と問いかけ、子どもたちの声を引き出してもよいですね。



ちゅうくんが元気にあいさつをして笑顔になった姿を見ながら、「あいさつすると気持ちいいね。みんなは今朝したかな？」と問いかけたり、実際にあいさつをし合ったりしましょう。あいさつに親しみを持ち、たいせつに感じられるとよいですね。



はる らんらん!



ねらい 春が来てうれしい気持ちを感じたり、次はどうなるのか期待をもったりしながら、読んでみましょう。

つかい方のポイント “はる らんらん いい こと いっぱい らん らん らん”とうたうように読みながら春が来た喜びを表現すると楽しいですね。最後にうさぎちゃんとタッチしてスキンシップをしましょう。



いちごが ぽっ!



ねらい 春が旬のいちごに興味をもち、いちご狩りのまねっこをして楽しみましょう。

つかい方のポイント 「真っ赤ないちごだね」「このいちごは大きいね」など、いろいろな会話をしながら、いちご狩りを楽しみましょう。お皿の上のいちごは、どんな味が想像しながら食べるまねをしてもよいですね。

「キンダーブックじゅにあ」を 保育にご活用ください!

毎月表紙イラストの むりえがダウンロード できます!



<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kj/2025>

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
<p>「あさのあいさつ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手に聞こえる声であいさつをする。 あいさつをすると心地よいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大声ではなく相手に聞こえる声量で、ていねいにあいさつすることを心がけ、つねに子どもの手本となるようにする。 子どもがあいさつすることを心地よいと感じられるよう、保育者自身が気持ちよくあいさつを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉 人間関係
<p>「いちごがぽっ!」</p>	<ul style="list-style-type: none"> いちごをよく見て色や形に興味をもち。 いちご狩りごっこを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> いちごの色や大きさの違いなど、子どもたちが自分の気づきをことばにできるように、やりとりを大事に支援する。 どのいちごが食べたいか尋ね、摘むまねや食べるまねをするなど、いちご狩りごっこを楽しめる雰囲気を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境 表現 言葉